

第26回千駄木プレホスピタル研究会開催報告

平成30年7月13日（金）、第26回千駄木プレホスピタル研究会を当大学院棟で開催いたしました。患者様により良い医療を提供するべく、救急隊と病院スタッフとの「顔の見える関係」を築くことを目的に設立された本研究会は今回で26回目を迎え、医師・看護師・消防職員・これから救急救命士を目指す救急救命士養成学校の学生等、104名もの方々にご参加いただいた中での開催となりました。

今回は、東京消防庁本郷消防署根津救急小隊扱い中の現場に臨場した当院救命救急科講師・増野智彦先生による多発外傷における現場活動内容と病院内治療について、東京消防庁千住消防署千住第一救急小隊が搬送した胸部刺創に対し当院救命救急科専攻医・前島璃子先生に病態、及び病院内治療についてお話をいただきました。

また、当院救命救急科助教・中江竜太先生に「脳卒中と脳血管内治療」、当院救命救急科准教授・横堀将司先生に「重症熱中症の病態と治療」と題してご講演いただきました。

当日参加された方々からは「外傷に対する病院内治療について初めて知ることが多かった。」「脳卒中の病態と最新の治療について知ることができ、今後の活動に活かしたい。」「熱中症の病態について改めて理解ができ、処置方法も学べて勉強になった。」等の声を頂戴いたしました。チーム医療の輪をより強固なものとするよう、次回開催に臨みたいと考えています。

東京消防庁委託研修生



